

# 県南家畜衛生情報



3月30日に、当所病性鑑定係は「マイクロプレートを用いたビタミンA測定方法の開発」により農林水産部長表彰を受賞しました。

## 今号の主な内容

- 牛のヨーネ病が発生
- アカバネ病ワクチンの接種の徹底を
- 直検手袋の交換は1頭ごとに！！
- 畜産経営の安定にはワクチン接種が基本です
- 黒毛和種子牛の下痢症対策について
- 平成17年度 岩手県南家畜保健衛生所 新体制について

2005  
第25号  
平成17年4月11日

発行 岩手県南家畜保健衛生所・岩手県南家畜衛生推進協議会

## 牛のヨーネ病が発生 ～軟便や下痢が続く場合は、本病の検査を受けましょう～

牛のヨーネ病は難治性の下痢を主徴とする監視伝染病で、ここ数年、管内では主に酪農家で摘発されておりましたが、平成16年度には黒毛和種の繁殖農家において発生しております。

特に黒毛和種を飼養している皆様には、軟便や下痢が続く牛を見つけた場合は、獣医師まで相談するようお願いいたします。

### 最近の当所管内の牛ヨーネ病発生頭数

| 年 度       | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
|-----------|----|----|----|----|----|
| ホルスタイン種   | 2  | 4  | 3  | 1  | 3  |
| 黒毛和種（繁殖牛） | 0  | 0  | 0  | 0  | 4  |
| 計         | 2  | 4  | 3  | 1  | 7  |

### ○牛のヨーネ病について

|      |   |
|------|---|
| 原因   | ヨーネ菌 ( <i>Mycobacterium avium subsp. paratuberculosis</i> ) |
| 感染経路 | 主に、感染牛の糞便で汚染されたエサや水を介して口から感染                                |
| 症状   | 治療しても治らない軟便、下痢。削瘦。  |
| 治療方法 | なし  |

## アカバネ病ワクチンの接種の徹底を

アカバネ病は吸血昆虫が媒介して流・死産や子牛に奇形や大脳欠損を起こす病気です。全国的では平成10年に700頭余り発生し、その後も散発しています。本県でも昭和60年に大発生がありました。ワクチンにより予防できますので、是非接種をお願いいたします。

## 直検手袋の交換は1頭ごとに！！

平成16年度学会年次大会において、牛白血病感染牛を直腸検査をした後に手袋を交換せずに非感染牛4頭を直腸検査したところ、3頭(75%)で白血病抗体が陽転したことが報告されました。人による伝播を防ぐために、直腸検査用手袋の1頭ごとの交換や診療時の1頭1針の徹底が必要です。

## 畜産経営の安定にはワクチン接種が基本です

平成17年度の取り扱いワクチンおよび予防注射手数料は下記のとおりです。特に生産性阻害要因として牛の下痢症や豚丹毒の発生が見られますので接種の徹底をお願いいたします。

| ワクチン          | 接種料    | 事業                |
|---------------|--------|-------------------|
| 牛五種混合         | 1,900円 | 岩手県畜産協会受託事業       |
| 牛アカバネ病        | 1,650円 | //                |
| 牛ヘモフィルス       | 1,200円 | //                |
| 豚丹毒           | 160円   | //                |
| 牛下痢（五混）       | 2,800円 | //                |
| 牛下痢（大腸菌）      | 2,400円 | //                |
| 豚TGE・PED混合    | 610円   | //                |
| 豚丹毒・APP混合     | 510円   | //                |
| 豚丹毒・ARBP（子）   | 360円   | //                |
| 豚丹毒・ARBP（繁殖）  | 1,090円 | //                |
| 日本脳炎・バルボ混合（生） | 1,300円 | 岩手県南家畜衛生推進協議会独自事業 |
| 豚日本脳炎（生）      | 600円   | //                |
| 馬日本脳炎         | 1,000円 | //                |

# 黒毛和種子牛の下痢症対策について

子牛はよく下痢症を起こし、重症にもなりやすいやっかいな病気です。平成16年度に当所で黒毛和種子牛の下痢要因を調査したところ、口ウイルスの31%を始め、感染性の下痢症が高い割合で発生していることがわかりました。多発要因に即した下痢症対策プログラムを検討しましたので、参考にしてください。また、下痢症で困っている農家の方は獣医師か当所にご相談ください。

## 黒毛和種子牛の下痢症要因

(平成16年度、58戸86頭調査)

| 要因         | 検出割合       | 日齢     |
|------------|------------|--------|
| 口ウイルス      | 31%        | 29±26日 |
| クリプトスポリジウム | 21%        | 14±10日 |
| 乳頭糞線虫      | 16%        | 44±29日 |
| コクシジウム     | 29% (増加5%) | 53±34日 |
| コロナウイルス    | 4%         | 19±25日 |

## 子牛の下痢症対策プログラム

### 母牛

| 分娩1.5ヶ月前          | 0.5ヶ月前               | 分娩            |
|-------------------|----------------------|---------------|
| 下痢5混ワクチン<br>(初年度) | 下痢5混ワクチン<br>石灰乳消毒分娩房 | 乳房の清拭<br>ほ乳確認 |

※ 飼料要求量に沿った飼料給与、糖蜜飼料や生菌剤の活用

### 子牛

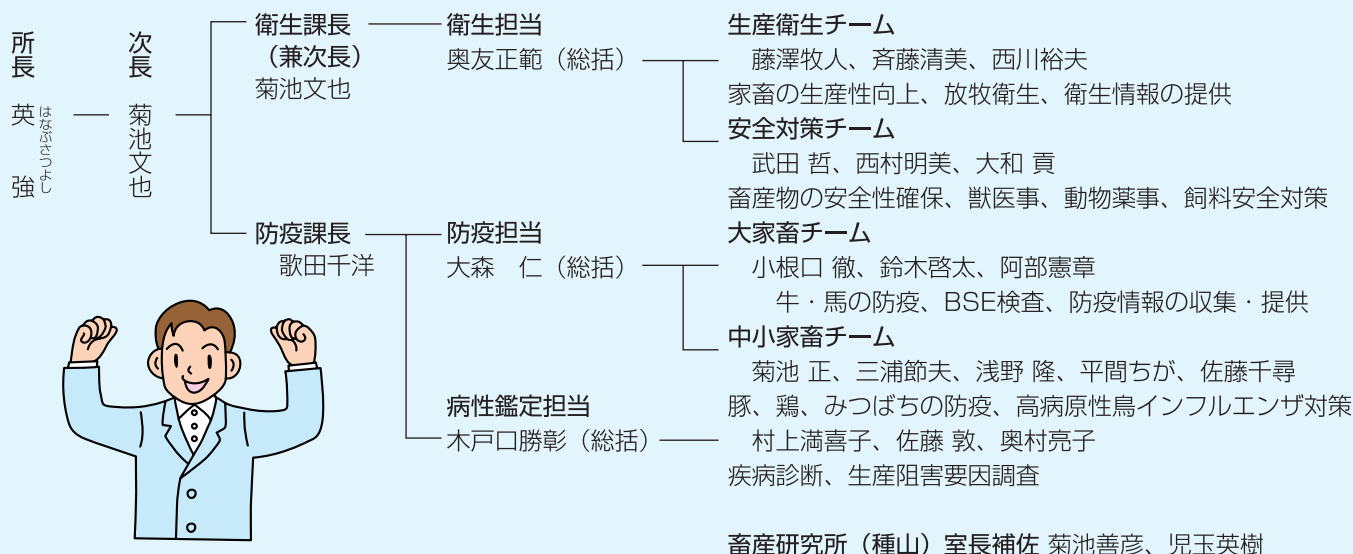
| 出生時          | 0.5ヶ月              | 1ヶ月     | 3~4ヶ月 |
|--------------|--------------------|---------|-------|
| 2産まで<br>粉末初乳 | (サルファ剤)<br>(線虫類駆除) | (サルファ剤) | 線虫類駆除 |

( )はコクシジウム、乳頭糞線虫の懸念がある場合  
敷料を十分に敷き「子牛の腹を冷さない」

- **下痢症ワクチン**(牛下痢5種混合不活化ワクチン)  
母牛に分娩前1.5ヶ月(初回のみ)、0.5ヶ月(毎回)に接種。
- **分娩牛房**  
分娩房の準備、清掃・消毒をしておき、2週間前に分娩房に移動。乾燥させて敷料を十分に敷き、「子牛の腹を冷やさない」。隙間風対策、保温も有効。  
・消毒：石灰(消石灰、ドロマイト石灰等)散布・石灰乳塗布は有機物の存在下でも効果が高い  
!石灰使用時にはマスク、ゴーグル、手袋着用のこと
- **初乳給与**  
子牛には、生後なるべく早く初乳を摂取させる。母牛が2産までの子牛は移行抗体が少ない傾向にあるため、粉末初乳等による補強を検討。
- **母乳性状の安定化**  
母牛は粗飼料を中心に飼料要求量に沿った良質な飼料を給与し、糖蜜飼料や生菌剤の活用も一方法。新鮮な水を十分に与え、飼料の急変を避ける。
- **コクシジウム対策**  
コクシジウムによる被害が多発している農場では分娩房の清掃・消毒に加え、サルファ剤による駆虫が有効。投与については獣医師に相談を。
- **乳頭糞線虫、消化管内線虫類対策**  
敷料がオガクズ等、乳頭糞線虫症発生の懸念がある場合には清掃・消毒に加え約0.5ヶ月齢時に、また、消化管内線虫類の対策として3~4ヶ月齢時に駆除の検討。
- **その他**  
分娩前に、乳房を逆性石鹼等を含ませたタオル等で清拭。また、コーチンで子牛のヘソを消毒する。

# 平成17年度 岩手県県南家畜保健衛生所 新体制について

今年度から、係制をなくし「担当・チーム」制を導入し、下記のメンバーで業務に取り組んでまいります。家畜に関するご相談を今後ともお気軽にお寄せください。



編集・発行

岩手県県南家畜保健衛生所  
岩手県南家畜衛生推進協議会

岩手県水沢市佐倉河字東館41-1  
TEL 0197-23-3531 FAX 0197-23-3593  
<http://www.pref.iwate.jp/~hp2514/>  
TEL 0197-24-5532 FAX 0197-23-6988